

必要ないです、未来には。核兵器も原発も！

—「府内自治体の非核・平和メッセージ」のポスター運動への賛同のお願い—

核兵器禁止条約がまもなく発効しようとし、原発に頼らない再生可能エネルギー時代に突入しようとしています。府内自治体の非核・平和施策の充実に向けて！

- お願い：①ポスター運動への賛同と資金カンパ。(意見ポスターと違って個人の名前は非掲載)
 ②ポスターを自治体や職場、街の掲示板に、さらにはご自宅に貼付。
 ③府内自治体の非核・平和施策の到達点と課題などに関する学習会。
 ④「新しい非核自治体宣言」や「脱原発自治体宣言」、「地域自然エネルギー基本条約」などの先進的な取り組みを理解し、各自治体の施策の充実に向けた働きかけ。

「非核の政府を求める京都の会」は、2004 年以来、毎年、府内全自治体に対して「非核・平和施策に関するアンケート調査」を進めてきました。府内のいずれの自治体でも、戦争の惨禍、とりわけ広島・長崎、さらに沖縄の体験を後世に伝え、平和の未来を築くべく、さまざまな施策に取り組んでこられました。だが歳月を重ねるうちに、制度やルールとして存続しつつも、風化している行事も見られます。

今年4月の当会第33回定期総会において、府内自治体においてどのような「非核・平和施策」が実施されてきたのか、その到達点を振り返りつつ、さらに充実させる方途を考えていくために、京都府内自治体の非核・平和施策の充実を願うポスター運動を提起することとしました。さらに「ヒバクシャ国際署名」の取り組みを飛躍する機会になればと念じています。

そこで、以下のような要領で取り組むことにしましたが、多く方の賛同をお願いいたします。

記

- (1) 協賛金：・個人1口 500円
 (賛同1口につき、ポスター1枚を進呈。10口以上の場合は布地ポスター1枚を追加進呈)
 ・団体1口2,000円
 (協賛1口につき、ポスター4枚を進呈。5口以上の場合は布地ポスター1枚を追加進呈)
- (2) ポスターの体裁：A2版、4色カラー印刷(防水紙、耐光インキ使用)。
- (3) 申込期間：2019年9月15日～2019年10月31日
- (4) 申込方法：「ポスター運動賛同用 郵便振替用紙」をご利用下さい。
 ポスターは、10月末に完成し、11月中旬にお届けします。

====よびかけ人//非核の政府を求める京都の会(肩書きなどはすべて2019年4月27日現在)====

【常任世話人】

- 市川 草人(元京都府立高校教諭)
- 伊藤ともえ(社会福祉士)
- 岩井 忠熊(立命館大学名誉教授)
- 大江 真道(日本聖公会司祭)
- 加藤 利三(京都大学名誉教授)
- 川合 葉子(原爆展ほりおこしの会代表)
- 河口 隆洋(京都教職員組合委員長)
- 久保田憲一(京商連会長)
- 久米 弘子(弁護士)
- 黒木 順子(京都YWCA会員)
- 小西紀久子(京都子どもを守る会運営委員)
- 小林 竜雄(京都市職労委員長)
- 須田 稔(元非核宇治宣言を生かす市民連絡会代表)
- 土井 俊栄(京都子どもを守る会運営委員)
- 中尾 牧(京都母親連絡会会長)
- 中島 晃(反核京都産業人の会世話人)
- 新妻 義輔(元朝日新聞大阪本社編集局長)
- 長谷川長昭(元全印総連役員)
- 長谷川千秋(元新聞記者)
- 花垣 ルミ(京都被爆者懇談会世話人代表)
- 馬場 佳子(元同志社中学校教諭)
- 福島 功(京都自治労連執行委員長)
- 堀川 朗子(民主青年同盟京都府委員長)
- 三宅 成恒(医師)
- 望田 幸男(同志社大学名誉教授)

- 森 吉治(京都府職労連委員長)
- 森下 総子(新日本婦人の会京都府本部会長)
- 山根久之助(京都市民連合@右京事務局長)
- 吉田 省二(元京都市立中学校教諭)
- 渡辺 和俊(日本共産党京都府委員長)
- 渡辺 賢治(医師)

【世話人】

- 有地 淑羽(アポリシオン2000京都代表)
- 石井 内海(平和を考える丹後の会事務局長)
- 大西 広(京都大学名誉教授)
- 大原 光夫(元京平協事務局長・浄泉寺住職)
- 岡田 英樹(京都平和委員会会長)
- 河本 一成(京都民医連会長)
- 酒井 仁巳(京建労書記長)
- 湯浅 俊彦(反核京都産業人の会世話人)

【地域・世話人】

- 太田垣 靖(伊根町)
- 高橋 一郎(舞鶴市)
- 西川 生子(京田辺市)
- 辰本 正憲(向日市)
- 吉田 弘(亀岡市)

【会計監査】

- 辻田 丞治(龍谷大学名誉教授)
- 山崎 彰(年金者組合京都前委員長)